

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587036903	科目番号 / Subject code	05870369
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12311_006		
授業科目名 / Subject	教育と文化 (教育相談) / Educational counseling		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田山 淳 / Tayama Jiyun, 西郷 達雄, 小川 さやか, BERNICK PETER JOHN / Bernick Peter John, 前田 桂子 / Keiko Maeda, 西郷 達雄 / Tatu Saigou, 小川 さやか / Sayaka Ogawa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	田山 淳 / Tayama Jiyun		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	田山 淳 / Tayama Jiyun, 西郷 達雄, 小川 さやか, BERNICK PETER JOHN / Bernick Peter John		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	j.tayama@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	本授業では、教育相談の理論や歴史を中心とした基礎的知識を学習する。基礎的知識に加え、教育現場等で必要な相談に関する技法をいくつか学習する。		
授業到達目標 / Goal	個々の児童・生徒の悩みに対応できる知識とスキルを身につける。		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義形式 (一部実習形式)		
授業内容 / Class outline/Con	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育相談の歴史と意義 2. 学校における教育相談体制と相談の進め方 3. 児童・生徒の発達に応じた教育相談 4. 児童・生徒が抱える心の問題の種類 5. 心の問題を明らかにする方法 (1) 6. 心の問題を明らかにする方法 (2) 7. 来談者中心カウンセリングについて (1) 8. 来談者中心カウンセリングについて (2) 9. 行動療法・行動カウンセリングについて (1) 10. 行動療法・行動カウンセリングについて (2) 11. グループエンカウンターについて 12. 心理教育について 13. 保護者への教育相談 14. 各種関係機関との連携 15. 総括 16. テスト 		
キーワード / Key word	教育相談、来談者中心カウンセリング、行動療法・行動カウンセリング		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	<p><教科書> ・授業内で配布するプリントを利用する。</p> <p><参考書> ・よくわかる教育相談 - やわらかアカデミズム・わかるシリーズ - : 春日井 敏之 (編集), 伊藤美奈子 (編集), ミネルヴァ書房, 2011 ・図で理解する生徒指導・教育相談: 佐々木 雄二 (著)・笠井仁 (著), 福村出版, 2010 ・教育相談・学校精神保健の基礎知識: 大芦 治 (著), ナカニシヤ出版, 2008 ・相談活動に生かせる15の心理技法: 「月刊学校教育相談」編集部 (編集), ほんの森出版, 2004 ・教育相談 - 教師教育テキストシリーズ - : 広木 克行 (編集), 学文社, 2008 ・教育相談の理論と実際 よりよい教育実践をめざして: 河村 茂雄, 図書文化社, 2012 ・教育相談入門 - こころの科学叢書 - : 高野久美子, 日本評論社, 2012</p>		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<ol style="list-style-type: none"> 1) 試験の結果30% 2) レポート・提出物40% 3) 出席および授業態度30% 		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考 (URL) / Remarks (URL)	地域課題と関連して、長崎県・市の教育相談窓口についても概観する。		
学生へのメッセージ / Message for students	授業理解度の自己評価を導入している関係上、毎回レポートを提出して頂きます。ご意見・ご質問などはメールでお願いいたします。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	教育相談の歴史と意義
第2回	学校における教育相談体制と相談の進め方
第3回	児童・生徒の発達に応じた教育相談
第4回	児童・生徒が抱える心の問題の種類
第5回	心の問題を明らかにする方法(1)
第6回	心の問題を明らかにする方法(2)
第7回	来談者中心カウンセリングについて(1)
第8回	来談者中心カウンセリングについて(2)
第9回	行動療法・行動カウンセリングについて(1)
第10回	行動療法・行動カウンセリングについて(2)
第11回	グループエンカウンターについて
第12回	心理教育について
第13回	保護者への教育相談
第14回	各種関係機関との連携
第15回	総括
第16回	テスト

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587038102	科目番号 / Subject code	05870381
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12351_005		
授業科目名 / Subject	教育と文化 (芸術) / Art		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	加納 暁子 / Kanou Akiko, 前田 桂子 / Keiko Maeda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	加納 暁子 / Kanou Akiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	加納 暁子 / Kanou Akiko		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]音楽棟2F1番教室		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	k-akiko@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	教育学部音楽棟3階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2346		
担当教員オフィスアワー / Office hours	メールで事前に問い合わせること。		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	音楽を取り上げ、教育における芸術の役割について理解することを目標とする。教育において音楽がどのように教えられているのか、音楽を通して人間は何を感じ、何を学ぶのかについて考察する。		
授業到達目標 / Goal	文化としての音楽、音楽と人間の関係、音楽教育について理解するとともに、音楽表現ができる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	音楽について分析、理解して、表現活動を行う。		
授業内容 / Class outline / Con	第1回 音楽と情景 第2回 音楽と情景 第3回 バロック時代の音楽 第4回 古典派の音楽 第5回 ロマン派の音楽 第6回 印象派の音楽 第7回 舞台芸術 第8回 舞台芸術 第9回 音楽と映像 第10回 音楽と映像 第11回 日本の音楽 第12回 日本の音楽 第13回 合唱・合奏の活動 第14回 合唱・合奏の活動 第15回 合唱・合奏の活動 第16回 最終試験		
キーワード / Key word	人間と音楽、音楽教育、表現		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	参考書「西洋音楽の歴史」東京書籍		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業内における態度・貢献度30% 毎授業内での課題20% 最終試験50%		
受講要件 (履修条件) / Requirements	音楽に興味、関心があること。 音楽活動の経験、音楽学習の経験があり、楽譜が読めることが望ましい。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業に対して真面目に取り組むこと。 授業態度の悪い者は単位を認めない。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	音楽と情景		
第2回	音楽と情景		
第3回	音楽と映像		

第4回	音楽と映像
第5回	バロック時代の音楽
第6回	古典派の音楽
第7回	ロマン派の音楽
第8回	舞台芸術
第9回	舞台芸術
第10回	舞台芸術
第11回	日本の音楽
第12回	日本の音楽
第13回	合唱・合奏の活動
第14回	合唱・合奏の活動
第15回	合唱・合奏の活動
第16回	最終試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587047901	科目番号 / Subject code	05870479
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12331_005		
授業科目名 / Subject	教育と文化 (日本語と社会) / Japanese and Society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	前田 桂子 / Keiko Maeda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	前田 桂子 / Keiko Maeda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	前田 桂子 / Keiko Maeda		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kmaeda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	教育学部棟624研究室		
担当教員TEL/Tel	2301		
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	現代日本語の音韻、文法、語彙、方言などに関する知識を修得し、身近な日本語を探究する態度を育てる。		
授業到達目標 / Goal	身近な日本語の成り立ちについて理解を深め、その理由を自ら探求し、自分の言葉で説明する能力を身に付ける。		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義		
授業内容 / Class outline/Con			
キーワード / Key word	日本語 ことば 変化 歴史 地域		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book			
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業中に課すレポートおよび期末試験		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	身近な日本語の由来を知り、日常的に使用している自らの日本語を内省します。積極的な参加を求めます。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	世界の中の日本語		
第2回	文字について 漢字		
第3回	文字について 仮名		
第4回	語彙について 和語、漢語、外来語		
第5回	語彙について 類義語、複合語		
第6回	標準語、俗語、若者語		
第7回	らしさの表現		
第8回	待遇表現の意義		
第9回	変化する文法		
第10回	変化する文法		
第11回	国語史 音韻の歴史		
第12回	国語史 文体の歴史		
第13回	方言		
第14回	方言		

第15回	単語の意味変化
第16回	総括